

道立旭川高等看護学院  
**学院生活に関する学生アンケート結果（7月）**

■ 実施時期	令和7年7月1日（火）～30日（水）
■ 対象期間	令和7年2月～令和7年7月
■ 対 象	全学生
■ 回答方法	申請フォームにより各自スマートフォンで回答（無記名）

1 回答率（目標：100%）

月	7月
回答数	38人（45.2%）

2 学院生活の満足度（目標：楽しい・まあまあ楽しいが増加）

月	7月
【1】学院生活が充実している（楽しい・まあまあ楽しい）	33人 （86.8%）

3 自己肯定感（目標：ポジティブな回答が増加）

月	7月
【2】自分自身に満足しているか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	26人 （68.4%）
【3】自分が役に立っていると感じるか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	30人 （78.9%）
【4】今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	28人 （73.7%）

4 教職員の対応で不快に感じたこと（目標：「なかった」が100%）

月	7月
【5】教職員の対応で不快に感じたことがあったか	なかった 32人（84.2%）
	あった 6人（15.8%）
【6】「あった」場合の内容	少数派の意見を聞こうとしない
	挨拶してもかえってこない。挨拶されたことにびっくりしている人もいた。
	責任転嫁
	休むことに対して悲しいことを言われた
	忌引きにはならない近親者が亡くなった際に、教員の言い方が冷たく、不適切に感じ、学生に寄り添う態度ではなかった

5 ハラスメント相談員の周知（目標：「知っている」が100%）

月	7月
【12】ハラスメント相談員を知っている	27人（71.1%）

6 学院としての対応

（1）教職員の対応で不快に感じたことについて

教職員間で協議し、思いあたることについては、自身が行った言動を振り返りました。今後は学生が不快に感じないように配慮した対応を心がけていきます。又、ハラスメント防止研修を教職員全員で受講するとともに、道立高等看護学院ハラスメント防止基本指針で対応を学び直しました。挨拶については、以前も同じような回答があったため、

挨拶励行に心がけていくことを共有しました。

学生が安心して学べる環境を整備していくためにも、ハラスメントと感じた場合は、①いつ、②どこで、③誰が、④誰に対して、⑤どのような場面で、⑥どのような言葉を、⑦どのくらいの時間に亘って発していたのかについて、ハラスメント相談窓口やメッセージボックスを活用するようお願いいたします。

## (2) ハラスメント相談員について

学生生活のしおりや学生掲示板にハラスメント相談員及び相談方法を記載・掲示、また電子窓口の二次元コード付き相談カードを配付するなどしていますので、ご活用下さい。